

高島善哉 たかしま ぜんがい 經濟學者。明治二十七年七月十二日岐阜縣生れ、平成二年一月十日歿（一九〇四・一九〇）。昭和二年東京商科大学卒。十六年同大教授。この間マルクス主義に傾倒し、八年特別高等警察官に檢擧せられる。戦後新制一橋大学社会学部創設に努め、学部長に就任。四十二年關東学院大学教授。

著書『再建の指標』（合著・東京帝國大学新聞社編、昭和二十一年十月）『二十一年勤勞学徒保護會「学徒叢書」』（コヤダム・ミスノの市民社会體裁）（昭和二十一年五月）二十五日日本評論社）、『戦後經濟學の課題・一』（合著、昭和二十一年九月）二十五日有斐閣『經濟學叢書』（

『若者の軌跡—私の學生の頃・第1集』（合著・學生書房編集部編、昭和二十二年四月）二十日學生書房）、『學生と社會』（合著・清水幾太郎編、昭和二十五年八月）二十日日本評論社『學生シリアル』（、

『愛國心』（昭和二十五年十月）二十日弘文堂）、『原典ミスノ』『國

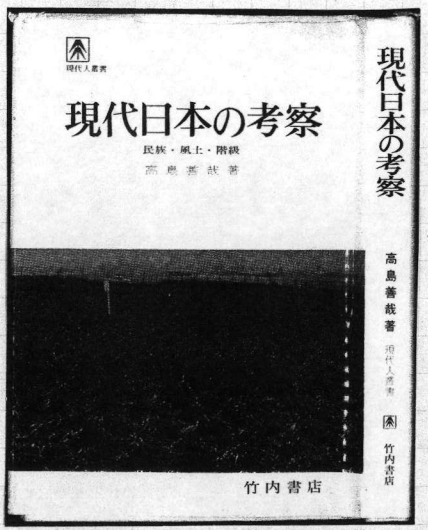
論』解説』（昭和二十八年二月）二十日春秋社）、『社會科學入門』

（昭和二十九年六月）二十日岩波書店『岩波新書』（、『青年と思想』

（昭和二十一年六月）理論社『私の大学・社会思想講座』（、『社

会思想史概論』（水田洋・平田清明

共著、昭和二十七年四月）二十日岩波書店）、『現代日本の考察—民族・風土・階級』（昭和四十一年十二月）二十日竹内書店『現代人叢書』（、



コヤダム・ミスノの市民社会体

系』(昭和四十九年四月)二十六年岩波書店( )、同時代社会科学一

『現代市民社会』(昭和六十二年九月)二十五岩波書店( )等。